



# JHS たより

平成22年6月1日(20,000部)発行

2010.6 Vol.39

観光は平和への  
パスポート  
国連世界観光年宣言

学校法人 日本ホテル学院  
発行所/専門学校 日本ホテルスクール  
財団法人 日本ホテル教育センター

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)  
http://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

## マレーシア観光省・政府観光局 ～海外研修旅行16年間に5,848名、企業研修10年間に60名～ 専門学校日本ホテルスクールに感謝状

## 課題の多い時代 だが、国際化は更に進む

校長 石塚 勉



マレーシア コタキナバル "Rasa Ria Resort" ホテルのスタッフと左から3人目、長谷川真希さん(109年卒)

「観光は、平和へのパスポート」、これは1967年に国連で世界観光年宣言として謳われたスローガンですが、昨今、特に2001年「9・11」の同時多発テロ以降、この言葉を身に沁みて感じています。テロ、津波、地震、サーズ、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ、大型デモ、火山噴火など、毎年のごとく、いろいろな事件、流行病、自然災害が次々と起きるものです。しかも、その影響規模も大きく世界各国にまたがっています。その都度、交通機関が麻痺し、人々の往来を妨げ、観光業界に悪影響をもたらしてきました。



JHSでは、毎年、全員参加の海外研修を実施していますので、計画時点で、次は何が起きるか考えることもあります。「9・11」には、開校以来、一度だけ海外研修旅行を中止、国内に切り替えたことがあります。時代の流れに対応し、教育の理念を具体化するには、止めるわけにはいきません。また、多くの卒業生が海外へ出かける時代を迎え、卒業後の海外研修・就業も、経済不況が雇用に影響があり、制約が出はじめています。しかし、国際化は着々と進行しています。海外に向けては、安全第一に、いくつかの課題を乗り越え、目的達成に向けて、世界の舞台に学生、卒業生を送り続けて行きたいと考えています。

マレーシアは、マレー半島南部とボルネオ島北部を領域とする人口274百万(日本の2倍強の人口)の連邦立憲君主制国家、人口の6割をマレー系、3割を華人系、1割をインド系が居住する国家で、これまでのロック・イースト政策など、日本との交流も深い国です。

てきました。学生及び卒業生の満足度も高い国です。

4月15日(木)、マレーシア観光省・政府観光局は、旅行業関係者25名を招き、帝国ホテルで昼食会を開催し、席上、マレーシア観光省・政府観光局ダト・ミルザ・モハメッド・タイヤブ総局長がJHSに感謝状を授与して下さいました。2005年10月27日(木)、サバ州のジョン・カ・キア観光大臣から表彰を受けたのに続き、二度目の栄誉となりました。JHSでは、これまで過去16年間に5,848名の学生を研修旅行に送ってきたこと、また過去10年間に60名の研修生を送ってきたことを評価されたものです。海外研修旅行では、コタキナバルあるいはランカウイとクアラルンプールの2地域、海外研修では、コタキナバル及びクアラルンプールのシャングリラ系ホテルを中心に、デサルー、ジョホール、セランゴール、クアンタン、シャーラムなど7地域のホテルでお世話になっ

マレーシアは、世界各国から2,360万人(日本の約3倍の外国人受け入れ国)、日本からも40万人の旅行者を受け入れています。MIC E(国際会議、展示会、招待会、セミナー等)、SIT(特別な目的をもった旅行)、ロングステイ(長期滞在)などを促進する一方、日本に向けては、女性を的に絞った戦略を展開、更に、学生市場については、韓国、オーストラリア、シンガポールに続いて4番目の海外研修旅行先として選択されています。安全性が第一、大自然、伝統そして多様な文化に触れる教育素材を提供してくれます。同国からの留学生も既に22名が卒業、さらに交流を継続したい国の一つです。



マレーシア観光省総局長から感謝状を受ける石塚校長

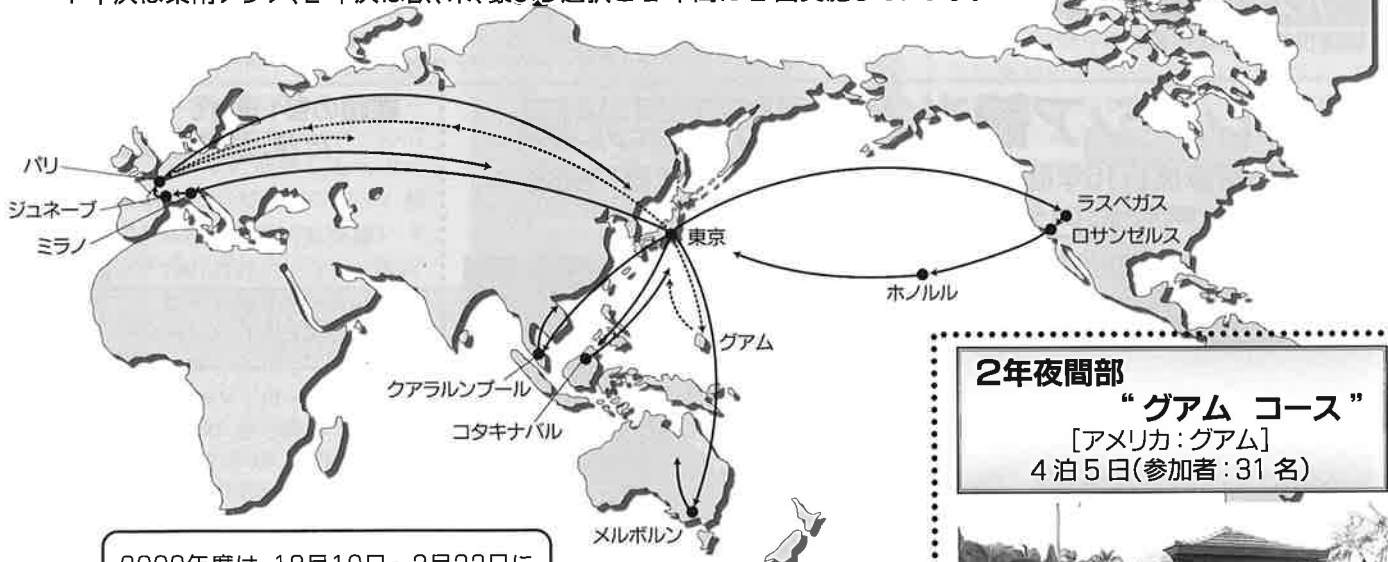


マレーシア クアラルンプールのモスク前で、1年昼間第3項の皆さん

# 国際的視野を広めた、全員参加の海外研修旅行

～今年度は、835名が7か国10都市を訪問～

全員参加による海外研修旅行は「国際的視野に立脚した人間の育成」という教育理念の一つを実践する場として、1年次は東南アジア、2年次は欧、米、豪より選択と2年間に2回実施しています。



2009年度は、12月10日～2月22日にわたり、835名が7コースにわかれて参加しました。

訪れた地域は7か国、10都市に及び、それぞれの訪問先で異文化に接し見聞を広めるなど、貴重な体験をすることが出来ました。

**2年夜間部**  
**“グアム コース”**  
 [アメリカ：グアム]  
 4泊5日(参加者：31名)



グアム「恋人岬」を散策中

**1年昼間部**  
**“マレーシアコース”**  
 [クアラルンプール→コタキナバル]  
 5泊6日(参加者：306名)



民族衣装でバンジョーダンスに挑戦!

**1年夜間部**  
**“クアラルンプール コース”**  
 [マレーシア：クアラルンプール]  
 3泊5日(参加者：116名)



ヘジャブを身にまとい、回教寺院の中でお祈り体験

**2年夜間部**  
**“パリコース”**  
 [フランス：パリ]  
 4泊6日(参加者：92名)



ベルサイユ宮殿はロマンティックな雨でした

**2年昼間部**  
**“メルボルン コース”**  
 [豪州：メルボルン短期留学]  
 4週間(参加者：21名)



メルボルン市内で説明を受ける一行

**2年昼間部**  
**“ヨーロッパコース”**  
 [ミラノ→ジュネーブ→パリ]  
 9泊11日(参加者：158名)



スイス「コモ湖」遊覧に出発!

**2年昼間部**  
**“アメリカコース”**  
 [ラスベガス→ロサンゼルス→ハワイ]  
 9泊11日(参加者：111名)



ハワイ名産バナナケーキの木の前の前で

## “将来への飛躍を誓って、喜びの巣立ち”

～第37期生卒業式を挙行!～

3月10日、第37期生の卒業式典が、グランドプリンスホテル新高輪「国際館パミール」において盛大に挙行されました。当日は、所定の課程を修了した416名が、それぞれの希望に向かって巣立ちました。式典は業界各方面から多数ご来賓のご臨席を賜り、300名に及ぶ保護者の皆様方、教職員の見守る中、石塚校長から卒業証書が授与され、中村 裕学院長、石塚勉校長の式辞に続いてご来賓を代表して、富



石塚校長から代表に卒業証書授与

### 2009年度 第37期生 専門学校日本ホテルスクール卒業記念パーティー 学校法人 日本ホテル学院



士屋ホテル代表取締役社長の勝俣 伸様からご祝辞を頂戴いたしました。そして、在校生代表、大久保美里さんの送辞、卒業生代表、細目光君、楊 俊娟さん(留学生代表)の答辞をもって無事終了いたしました。

また、卒業パーティでは、軽音楽同好会メンバーに先生方も加わり軽快な音準を披露。卒業生の皆さんの喜びに満ち溢れた門出を祝いました。

## 卒業ゼミ、HMS、HOPを開講

～主体的に学習、ホテルの経営実態を理解～

2年間の教育の総括として、卒業を控えた時期に、ホテル科、英語専攻科の2年生を対象に、昼間部はHMS(ホテル・マネジメント・シミュレーション)、夜間部はHOP(ホテル・オペレーション・プログラム)を実施しています。両講座の大きな特色は、学生がグループ討議をし、講師の助言を得ながら主体的に楽しく学習に参加でき、ホテルの経営実態が理解出来ることにあります。

「HMS」:コンピューターで楽しくホテル経営を模擬体験し、経営の学習プログラムを通じて、1年間のホテル経営を行いその計画と実績を分析し、経営の仕組みを理解する。

「HOP」:マネジメントゲーム的要素を取り入れた、ホテル計数管理プログラムで、ホテルにおける各部門特有の問題解決にスポットを当てたコンテンツで構成されている学習プログラムです。

## 2009年度就職内定率98%、2010年度就職戦線始まる

2009年度は、世界的な経済不況を反映し、日本のホスピタリティ業界も大きな影響を受け、本校でも、求人数が及び求人数も昨年度対比35%減少しました。開校以来、初めての厳しい状態となりました。しかしながら、こうした減少を早期に予測し、職員を増員して就職支援室を設置、支援活動を強化するなど、学生及び保護者の皆さんにも早期に動きに入るよう事前連絡をするなどの対策を講じてきました。その結果、5月10日現在、2009

年度生の就職内定率98%となりました。

2010年度就職戦線は、既に3月から始まっていますが、昨年度の動きと同様、依然と厳しい状態が続くものと予測されます。こうした状況に対応するため、厳しい状況下においても、新たな体制の下で、教職員が一丸となって、就職内定率100%を目指し、学生の就職活動を支援してまいりますので、在学生は、情報収集、意思決定を早めるよう努力してください。

### 【2009年度の主な就職先】

プリンスホテル	14名
リゾートトラスト	8名
横浜ロイヤルパークホテル	6名
帝国ホテル	4名
セレス千代田	4名
ウェスティンホテル東京	3名
日本ホテル(株)	3名
パークハイアット東京	3名
富士屋ホテル	3名
明治記念館	3名

○菊池かをる(きくち かをる)  
出身地:神奈川県横浜市  
趣味:温泉、読書、バイキング  
ひとこと:和食のサービスはとても奥が深く面白いですよ。興味のある方は、是非、お声をかけてください。

## ～新任先生紹介～

新しく3人の先生方が着任されました

- 井上 正子(いのうえ まさこ)  
出身地:東京都品川区  
趣味:海外B級グルメめぐり  
ひとこと:海外旅行の際はいつでも遠慮なく声をかけて下さい。オススメポットお教えします!
- 小柳 綾(こやなぎ あや)  
出身地:神奈川県秦野市  
趣味:旅行・歩くこと  
ひとこと:おすすめのお出掛けスポットがあれば教えて下さい。皆さんの学校生活が有意義になるよう頑張ります。

## “HRSサービス技能コンクール”

～志賀 恵さんが敢闘賞を受賞～

東京ビックサイトで開催された「第4回HRS サービス技能コンクール2010 Under25」で、志賀 恵さん(10年3月卒)が敢闘賞を受賞しました。志賀さんは、書類審査、予選課題2課題を見事な手捌きで通過、決勝の6名に勝ち残る大健闘で見事に敢闘賞を受賞したものです。この大会に本校は初参加という事もあり、大変な緊張であったと思われませんが、志賀さんにとっても貴重な体験となり、就職先である帝国ホテルでの今後に役立つことと思います。また、今回の受賞は後輩にとっても大きな励みになることと思います。

\*コンクール:(社)日本ホテル・レストランサービス技能協会が行う国家試験「レストラン技能士3級」合格者の中から応募者を募り、書類審査の上20名が予選通過

\*予選課題:①マルガリータ(カクテル作成)②オレンジのカービング

\*決勝課題:③シーザーサラダ ④カレ・ダニョーのデクパージュ



## “2010年度”第39期生 入学式典挙行 ～将来の目標を胸に、489名が入学～

2010年度、第39期生の入学式典が4月5日「なかのZERO大ホール」において盛大に挙行されました。当日は真新しいスーツに身を包んだ新入生が、多数のご来賓、教職員、そして約300名の保護者の皆様方の見守る中で式典に臨みました。

式典は中村 裕学院長、石塚 勉校長の式辞に続いて、ご来賓を代表して(社)日本ホテル協会専務理事の橋本 雅之様から、業界の発展にとって欠かせない人材として、皆さんに期待する旨の激励のお



“入学の言葉” 阿部 祥実さん

言葉を頂戴しました。

また、各ホテル、海外のシートル校、メルボルン校などから多数の祝電が披露されました。

そして、新入生代表、阿部 祥実さんの希望に満ち溢れた“入学の言葉”をもって無事終了しました。

第2部では、入学オリエンテーション、クラス担任紹介、クラブ・同好会の紹介、「スマイルフォトコンテスト」審査結果の発表・表彰などが行われました。



## “外国人留学生28名が入学”

～韓国、台湾、中国  
ルーマニア、インドネシアから～

今年も28名の外国人留学生の皆さん(韓国14名、台湾7名、中国5名、ルーマニア、インドネシア各1名)がホテルの勉強をするために入学しました。言葉や風俗習慣が異なる日本で生活し勉強して行くことは大変なことだと思います。留学生の皆さんが無事に目的を達成出来るように全校あげて応援しましょう。



入学式を終えて、外国人留学生の皆さん

## 第9回“スマイルフォトコンテスト” ～最優秀賞に深山 帆南美さん～3000人のパワー～

2010年度入学者を対象に実施された、第9回“スマイルフォトコンテスト”の表彰式が、4月5日の入学式の際に行われました。応募作品多数の中から、深山 帆南美さん “3000人のパワー”が最優秀賞に選ばれ、賞状と副賞として“浦安ブライ

トンホテル”のツインルーム ペア宿泊券が贈られました。

なお、優秀賞には、岡崎 千佳さん、内藤 亜沙実さんが、そして佳作には、吉川 美咲さん、石上 由依さん、浦野 友梨香さん、黒田 千尋さんの4人が選ばれました。



見事に入賞を果たした皆さん  
左から、浦野さん、深山さん、黒田さん、石塚校長、内藤さん、岡崎さん、石上さん、吉川さん

### 最優秀賞

深山 帆南美さん  
埼玉県立伊奈学園総合高等学校卒業  
題名「3000人のパワー」

### 優秀賞

岡崎 千佳さん  
北海道千歳高等学校卒業  
題名「支え合ってきた音楽仲間」

### 優秀賞

内藤 亜沙実さん  
静岡県立沼津西高等学校卒業  
題名「じいちゃん和孫たち」

## 39期生の皆さん! “私達12名が担任です”

「1年担任団」

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| A 水澤 伸介             | G 小野 昭彦 |
| B 片岡 衛              | H 下田 憲司 |
| C 吉岡 康子             | I 小島 和子 |
| D 名嘉原安智             | J 石塚 崇  |
| E 川辺 修              | K 黒須健二郎 |
| L 江口 幸 (L副担任 井上 正子) |         |



前左から、新入生、39期生、67期生、68期生、69期生、70期生  
後左から、新入生、39期生、67期生、68期生、69期生、70期生

## 昼夜間部一緒に楽しい一日! ～1年生ボウリング大会開催～

4月28日、1年生恒例のボウリング大会が、品川プリンスホテル アネックスタワーで盛大に開催されました。今年は1年生昼夜間部11

クラスが、混合で午前部、午後の部に分かれて行われ、1人2ゲームの合計得点により、男女別の個人戦とクラスの上位10名の合計得点によるクラス対抗戦で競い合いました。午前部では、男子の個人優勝がAクラスの助っ人に入った石塚校長先生で、優勝賞品は、男子最下位の学生へプレゼントするサプライズもありました。ゲームではストライクでハイタッチ、ガ



校長先生を囲んで、本当に楽しい1日でした!

### ○午前の部(A/E/L/G/I/K)

【団体戦】

- |         |       |
|---------|-------|
| 1位:Aクラス | 2255点 |
| 2位:Eクラス | 2204点 |
| 3位:Gクラス | 2153点 |

【個人戦】

(男子)

- |            |      |
|------------|------|
| 1位:A 石塚 校長 | 329点 |
| 2位:G 新谷 健介 | 292点 |
| 3位:L 深堀 和政 | 291点 |

(女子)

- |            |      |
|------------|------|
| 1位:G 高橋みなみ | 246点 |
| 2位:G 村田 千香 | 243点 |
| 3位:K 石川 史織 | 236点 |

### ○午後の部(B/C/D/H/J)

【団体戦】

- |         |       |
|---------|-------|
| 1位:Bクラス | 2327点 |
| 2位:Cクラス | 2301点 |
| 3位:Dクラス | 2244点 |

【個人戦】

(男子)

- |            |      |
|------------|------|
| 1位:C 佐々木星也 | 314点 |
| 2位:C 加藤 慎也 | 310点 |
| 3位:C 橋本 颯  | 292点 |

(女子)

- |            |      |
|------------|------|
| 1位:D 中岡 佳苗 | 261点 |
| 2位:J 馬場美紗希 | 261点 |
| 3位:H 佐久間万央 | 253点 |

# ～ JHS 同窓会 便り ～

## “ヒルトン研修生” 第16期生 修了式行われる

4月19日、2009年度のヒルトン研修生14名の修了式が、ヒルトン東京で行われました。この制度は、ヒルトンホテルの支援により日本で唯一、日本ホテルスクールだけが16年間にわたり、多くの研修生をアメリカのヒルトンホテルに送り続けてきたものです。2010年度からは、より発展的な方向で、その呼称を「アメリカホテル研修生制度」と変更し、今後はヒルトンのみならず、他のホテルとの協力も視野に入れながら、研修機会を提供して行くことになりました。

※'94年～'09年、ヒルトンホテルへの派遣実績17ホテル、累計292名。



修了証を手に喜びの皆さん

## 第9回“JHSソムリエクラブの集い”

～「TWO ROOMS GRILL/BAR」にて開催～

料飲関係に勤務する同窓生を中心に発足した“ソムリエクラブ”第9回の集いが、3月15日、レストラン「TWO ROOMS



レストランのテラスにて、記念メダルを授け!

GRILL/BAR」(青山)において開催されました。このレストランは、JHSソムリエクラブ理事の浅田 資継氏がレストランマネージャーを務め、卒業生合わせて5名が勤務する話題のレストランです。

当日は、同クラブの会員、JHS教職員など21名が参加、レストランの雰囲気と同時に浅田さんの人柄、爽やかな接客技術に浸りながら快適な時間を過ごしました。

\*ソムリエクラブのお問い合わせ先 事務局、川上 忠道 (JHS : '83年卒)

## LA・インターコンチネンタルホテルで活躍中!

～半田 智郎氏('87年卒) 経理課長として～

半田 智郎氏 ('87年卒) は、卒業後、ウェスティン東京に勤務していましたが、'97年に、Tour Coordinator として、ロサンゼルス Westin Century Plaza へ、その後、'05年にインターコンチネンタル・ロサンゼルス・センチュリーシティ (当時はパークハイアットの時代) へ経理担当として転勤、現在、経理課長として、また、昨年「トラベル・ユニバーシティ」にてレストラン経営の講師を兼務し活躍中です。

「昨年は、皇太子殿下がご宿泊され、経理課に属しながらVIP待遇を任せられたりと、過去の経験を活かせるのもホテルエの特権です。ホテル業を夢見る学生に講義をするとき、よく我が母校を思い出

します。この学校の一番の利点は、OPT (インターンシップビザ) が取得でき、米国内のホテルで、1年間有給で労働できること。アメリカンドリームを抱く我が後輩、是非、私 (tomhanda@traveluniversity.edu) まで連絡下さい。」とのお便りを頂きました。



職場の仲間と、左から2人目、半田さん

## “Best Japanese Restaurant in Singapore” に選ばれました!

～三島美樹恵さん('02年卒) がマネージャー～

三島美樹恵さん ('02年卒) がマネージャーを務める、シンガポールのレストラン「厨ダイニング」が、シンガポールの食に関する



後列左から8人目、賞状を手に三島さん

る情報フードサイトで、日本食レストラン部門の1位に選ばれました。

三島さんは、ヒルトン・グアムでの研修後、フォーシーズンズホテル上海、シャングリ・ラ香港のレストラン部門に勤務してキャリアを積み、現在、RE&Sエンタープライズ(株)のシンガポールレストラン「厨ダイニング」の日本人マネージャーとして大活躍、今回の栄えある受賞に貢献しました。

なお、このレストランでは、日本人スタッフを募集しています。

## 第33回 JHS同窓大学を開催

～福岡市に九州地区卒業生が集う～

2月27日～28日、第33回JHS同窓大学が福岡市の「雑魚屋福岡天神店」で開催、九州地区関係者13名が集いました。今回の学長役は、金森 啓示氏 ('78年卒: ホテルニューオータニ博多副総支配人)、教授役に吉村 元志氏 ('81年卒: ホテルローレイ総支配人) が担当、九州地区の観光事情、特色などの講演を行いました。懇親会では参加者一同親交を深めました。

同大学は、1997年開始、全国17都市で開催、延べ550名の卒業生が参加しています。



JHS同窓会同窓大学旗を囲んで

## 宮崎県で活躍する卒業生!

～'86年卒 坂東 篤氏～

坂東 篤氏 ('86年卒) が、JR宮崎駅から程近くにある、宮崎第一ホテルの代表取締役として活躍しています。坂東氏は卒業後、都内のホテルに就職、業務経験を積んだ後、出身地に戻り現在は、全日本シティホテル連盟九州副支部長としても活躍されております。坂東氏は「これからも、九州地区の卒業生の皆さんと連携をとって、学校の発展と同窓会の運営に協力して行きたいと思います。同窓生の皆さん、是非、お立ち寄りください」とのことです。



黒須教育部長と坂東氏(右)

\*宮崎第一ホテル (<http://www.23-1111.com>)

## 静岡県の「ときめき女性」に!

～田嶋みゆりさん('90年卒)～

田嶋みゆりさん ('90年卒、旧姓: 多田みゆり) が、昨年、静岡県の「ときめき女性」に選ばれ、街づくりにも一役買うなど活躍しています。田嶋さんは、現在、静岡県富士市でご主人と一緒に、フランス料理「デニス愛鷹亭」を営んでいます。卒業後、清里高原富士屋ホテルなどで経験を積んだ後、スイス・ジュネーブでフランス語を学びながら、日本食レストラン「山水」に勤務、帰国後、ソムリエ試験に合格、第1回エヴィアディスプレイコンテスト優勝など、ソムリエールとして活躍しています。



今日も元気に田嶋さん

連絡先 TEL:0545-34-5639

<http://www.geocities.jp/asitakatei/>

## 今年で10周年を迎える“ホテル産業経営塾” ～2009年度は、ホテル業界の中堅幹部19名が卒業～

財団法人日本ホテル教育センターが主催し、社団法人日本ホテル協会が後援する「ホテル産業経営塾」第9期 卒業式典が3月12日に挙行されました。ホテル産業経営塾は、現役のホテル管理職の方々を対象にホテルビジネスの変革リーダーの育成を目指し、2001年に開塾したものです。塾生が作成した卒業論文の中で、優秀論文に選出された5作品については、ホテル業界紙である「週刊ホテルレストラ

ン」に2週に分けて掲載予定です。



田中勝塾長より、卒業証書授与

## モルディブ共和国大使が来校 ～施設見学、そして意見交換を行う～

4月28日、モルディブ共和国アハメド・カリアル大使が来校、施設を見学、モルディブからの留学生の受入、JHS学生のモルディブへの海外研修旅行など相互交流の可能性について意見交換をしました。

モルディブは、インド洋に浮かぶ26の環礁や約1,200の島々から成る、イスラム教を国教とする共和国で首都はマレ。観光業と漁業の二つが主な産業。美しいサンゴ礁に恵まれた景観から、高級リゾート地として、人口の増大の観光客が欧州をはじめ世界中から訪れ、観光産業を基幹産業として発展しています。観光産業推進の一環として、人材育成も大きな課題の一つとなっていることから、今回の大使来校となったものです。

現在、モルディブへは、JHSから5名の

卒業生が二つの高級リゾートホテルに赴任しています。

Taj Exotica Resort & Spa Maldives に3名：辰口 良美さん'07年卒、高橋あゆみさん'08年卒、波多野友香さん'06年卒、Four Seasons Resort Maldives at Kuda Huraa に2名：三宅可奈子さん'01年卒、山本 静枝さん'02年卒、が赴任しています。



左から4人目、マレド・カリアル大使と関係者の皆さん

## ベトナム、ダナン市と人材・観光交流 ～大学理事長、駐日代表部代表が来校～



左から、梶龍亮明先生、マイ・ダン・ヒュウ副代表、MA理事長、ルオン・ミン・サム代表、石塚校長

2月15日、ベトナム ダナン市、DongA大学のNGUYEN THI DAO、MA理事長、ダナン人民委員会駐日代表部、LUONG MINH SAM代表など関係者4名が来校し、石塚校長他学校関係者と会談、今後の相互訪問、人材交流などの協力、連携について意見交換を行いました。

\*ダナン市：ベトナム第3の都市で、ベトナム中部における経済・文化の中心地で、観光地としても名高くリゾート開発なども積極的に進められています。

## ～インドのタージ・ホテルズ 日本代表、販売部長が本校を訪問～

3月26日、インドのTaj Hotels Resorts and Palaces、日本代表の徳原 綱男氏とSwati Dhir販売部長が来校、学校の教育施設を見学、今後のJHS卒業生の派遣について協議しました。タージ・ホテルズ&パレスは、インドの三大財閥の一つである、タタ・グループ（自動車メーカー、製鉄会社、電力会社など）が経営する高級ホテルチェーンで、インドを始め11か国で60軒を展開しています。現在では、ニューヨークのザ・ピエール、ボストンのザ・リッツ・カールトン、サンフランシ

スコのカムデンプレイスなどの高級ホテルも傘下に収めています。現在、Taj Exotica Resort & Spaモルディブで、本校の卒業生3名就業中です。



写真左から、石塚校長、Ms Swati Dhir、黒澤先生、川辺先生

# トピックス

## 国際女将会の活動に表彰状 ～これまでの15年間の実績が評価され～

1月22日、観光経済新聞社が主催、2009年度「人気温泉旅館ホテル250選」認定証授与式及び「にっぽんの温泉100選」の表彰式が、9団体の後援、業界関係者約500名の参加の下で行われました。席上、同社60周年記念行事の一環として財団法人日本ホテル教育センターが表彰されました。1995年日本旅館国際女将会を発足し、過去15年間にわたり、世界17か国60都市を訪問、公式行事を15都市で開催、参加者累計273名、TV取材出演45局、招待者1,200名、掲載媒体150点など、日本旅館の国際化、来日促進への貢献が評価されたものです。同事業を推進する石塚 勉理事長に江口 恒明社長から表彰状が贈られました。



江口社長から、石塚理事長に表彰状授与

## ～フランスのホテル学校から 教職員・学生29名が来校～

3月18日、フランス CFA MEDERICホテル学校から、先生2名、学生27名が来校し、JHS教職員、学生との国際交流会を開催しました。当日は、石塚校長から本校の教育内容の説明、江口先生による日本文化の紹介が行われ、その後、4グループに分かれての館内見学、本校教職員、学生30人との交流会が行われ、日本とフランス両国の国民性を理解し合いました。



学校の施設を見学する一行

## 編・集・後・記

「JHSたより」39号をお届けいたします。今号は、1面～2面に、マレーシア観光省表彰、海外研修旅行特集、3～4面に37期生卒業式、39期生の入学式典の様子が学生の各種行事、就職状況など、5面に同窓会便り、そして、6面には財団の記事を掲載いたしましたのでご覧ください。なお、次号は10月発刊の予定です。記事や写真など担当までお寄せ頂ければ幸いです。  
(編集担当 JHS 宇都宮 護)  
連絡先：03-3360-8231  
utsunomiya@jhs.ac.jp